

# 作家の仕事

## 第1回 「絵と文の調和」



資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">ピューマの遊び心</a> (シートン動物誌 ; 1)	By Ernest Thompson Seton 今泉吉晴監訳	紀伊國屋書店	1997	482/3/1

### 【ピューマの遊び心 (シートン動物誌 ; 1)】

『シートン動物記』の著者、動物文学の第一人者とされるシートンが、動物文学の形式から転換し、事実の記述の積み重ねから真実を描き出す自然誌の手法で書いた『Lives of Game Animals』の訳書。

出典：『ピューマの遊び心 (シートン動物誌 ; 1)』 by Ernest Thompson Seton ; 今泉吉晴監訳 紀伊國屋書店 1997 482/3/1

### アーネスト・トンプソン・シートン (Ernest Evan Thompson Seton) [1860-1946]

アメリカの小説家、画家、博物学者。動物についての正確な知識と観察に基づき、自身の挿絵を付した物語を数多く発表した。これらの諸作は、日本では『シートン動物記』として知られる。また、晩年はボーイスカウト運動の指導者として著名。

出典：【シートン】 日本国語大辞典 JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">Songs of innocence</a> (本文言語 英語)	By William Blake	Dover Publications	1971	931/1149/1

### 【無垢の歌】 (Songs of Innocence)

ウィリアム・ブレイクの詩画集。1789年までに各詩編とも彫版印刷と彩色を終えて同年出版されたが、活字本と違い、各本で手製本特有の彩色むらや、作品数や配列に異同がある。

出典：【無垢の歌】 日本大百科全書 (ニッポニカ) JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

### ウィリアム・ブレイク (William Blake) [1757-1827]

英国の詩人・画家・版画家。ロマン主義の先駆者で、深い精神性をもつ幻視と幻想の世界を象徴的に表現した。

出典：【ブレイク】 デジタル大辞泉 JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

# 第1回 「絵と文の調和」

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">Momo, order, Die seltsame Geschichte von den Zeit-Dieben und von dem Kind, das den Menschen die gestohlene Zeit zurückbrachte : ein Märchen-Roman</a> (本文言語 ドイツ語)	By Michael Ende	K. Thienemann	1973	943/7

## 【モモ (Momo)】

ドイツの児童文学者、エンデによる長編の童話。少女モモが、時間泥棒に奪われた人々の時間を取り戻す冒険を描いたファンタジー。1973年刊行。翌年、ドイツ児童文学賞を受賞。

出典：【モモ】 デジタル大辞泉  
JapanKnowledge <https://japanknowledge.com>

## ミヒャエル・エンデ (Michael Ende) [1929-1995]

ドイツの児童文学者。父エドガーはシュールレアリスムの画家。時間泥棒から人々を救う少女を描いた『モモ』が、世界的ベストセラーとなる。文明批判を織りこみながら空想の世界をたくみに描き、広く人気を得た。

出典：【エンデ】 デジタル大辞泉  
JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">星の王子さま</a>	サン・ テグジュペリ著 内藤濯訳	岩波書店	1972	953/254

## 【星の王子さま】

フランスの作家サン・テグジュペリの童話。1943年刊。バラの花と仲たがいの王子が自分の星を離れて、大酒飲みの星、実業家の星などを歴訪し、7番目の星、地球を訪ねて狐、蛇、鉄道のスウィッチマンなどと知り合い、やがてバラの花が気がかりで自分の星に帰っていく。作者の終生のテーマだった人間の連帯と責任を〈たいせつなものは目では見えない〉といった名言に集約させて語っている。

出典：【星の王子さま】 世界大百科事典  
JapanKnowledge <https://japanknowledge.com>

## サン・テグジュペリ (Antoine de Saint-Exupéry) [1900-1944]

フランスの小説家、飛行家。パイロットの体験をもとに人間の崇高さ、勇気、知恵などを扱った作品を残す。

出典：【サン・テグジュペリ】  
日本国語大辞典 JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

# 第1回 「絵と文の調和」

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">おもひで（名著複刻全集近代文学館）</a>	北原白秋著	日本近代文学館	1968	F2b/170/B20

## 【おもひで】

北原白秋の叙情小曲集。1911年刊。フランス印象派の影響を受けた作品群により注目を浴び、詩壇での地位を確立した。

出典：【思ひ出】 デジタル大辞泉  
JapanKnowledge <https://japanknowledge.com>

## 北原白秋 [1885-1942]

詩人・歌人。与謝野鉄幹の門人となり、『明星』『スバル』に作品を発表。のち、木下杢太郎らと耽美派文学の拠点となる「パンの会」を結成。

出典：【北原白秋】 デジタル大辞泉  
JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">どんたく：繪入小唄集（名著複刻全集近代文学館）</a>	竹久夢二著・絵	日本近代文学館	1969	F2b/170/C3

## 【どんたく】

1913年に刊行された、夢二が手掛けたとして広く認知されている詩集。

夢二研究家も「夢二の処女詩集とする事について異議はない」と指摘しており、夢二著書の中で最も版を重ねている。

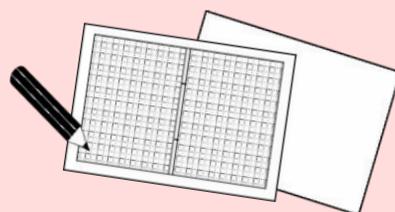
『どんたく』について大岡信は「北原白秋の『思ひ出』などと共通するところのある詩情を、彼独自の「細み」「やつれ」「清怨」「ためいき」の鑄型に流し込んで、ひとつの完成品に仕上げている」と分析している。

出典：『竹久夢二詩画集』 竹久夢二著；石川桂子編 岩波書店 2016 918.68/212:A

## 竹久夢二 [1884-1934]

画家、詩人。1905年頃から挿絵画家として活躍、独特の美人画のほか『宵待草』などの叙情詩で人気を博す。1914年東京に趣味の店港屋を開き、商業デザインも手がけた。

出典：【竹久夢二】 日本人名大辞典  
JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>



# 第1回 「絵と文の調和」

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">東京繁昌記</a>	木村荘八著	国書刊行会	1987	J2c/414

## 『東京繁昌記』

戦後、明治大正期の風俗随筆集にすぐれた文筆家の一面をみせた木村荘八の遺著。樋口一葉、徳田秋声、永井荷風らの明治以後の文学挿絵を添えた東京風俗記の本作の文と絵に対して、日本芸術院恩賜賞が贈られた。

出典：【木村荘八】 日本大百科全書（ニッポニカ）、日本近代文学大事典  
JapanKnowledge <https://japanknowledge.com>

## 木村荘八 [1893-1958]

洋画家。白馬会葵橋洋画研究所に学ぶ。ヒュウザン会、草土社、春陽会の創立に参加。代表作に『パンの会』『牛肉店帳場』などがあり、『溼東綺譚』などの挿絵や随筆でも知られた。

出典：【木村荘八】 日本人名大辞典 JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
【電子ブック】 <a href="#">詩的言語と絵画： ことばはイメージを表現できるか</a>	今野真二著	勉誠出版	2017	収録データベース KinoDen

## 『詩的言語と絵画： ことばはイメージを表現できるか』

「絵」や「詩」を説明するとはどういうことか？

1910年代に活躍した青木繁、竹久夢二、古賀春江、**木下柰太郎**、恩地孝四郎等の作品・言説を取り上げ、絵画作品をとりまく言語表現をてがかりに、絵とことばとのかかわりを考える。

出典：『詩的言語と絵画：  
ことばはイメージを表現できるか』 KinoDen  
[https://kinoden.kinokuniya.co.jp/hosei\\_u/](https://kinoden.kinokuniya.co.jp/hosei_u/)

## 《掲載人物一部ご紹介》 木下柰太郎 [1885-1945]

詩人、劇作家、医学者。1941年北原白秋らと「パンの会」をおこし、耽美派文学の中心となる。翌年『スバル』創刊に参加。皮膚科学者としても知られ、1937年東京帝大教授。後半生は東洋美術、キリシタン文化の研究に専念した。

出典：【木下柰太郎】  
日本人名大辞典 JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

# 作家の仕事

## 第2回 「作家の手稿」



資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">近代作家自筆原稿集</a>	保昌正夫監修 青木正美収集・ 解説	東京堂出版	2001	910.26/377

### 《展示ページ》

#### 【鏡地獄】 江戸川乱歩著

少年時代からレンズや鏡に異常な嗜好を持ち、ついには自宅の庭にガラス工場まで作ってしまった男。ある日、その男の実験室に、内部から笑い声のような唸りが響く不思議な玉が出現する…。

出典：【鏡地獄】 bookplus  
<https://web.nichigai.jp/nos/nweb/book/search>

#### 江戸川乱歩 [1894-1965]

推理作家。1923年『二銭銅貨』でデビュー。本格的トリック、奇抜な着想、幻想怪奇趣味などにより代表作『人間椅子』『陰獣』を書く。他に『怪人二十面相』など作品多数。戦後は評論集『幻影城』を刊行、江戸川乱歩賞を創設した。

出典：【江戸川乱歩】  
日本人名大辞典 JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">複製近代文学手稿100選</a>	日本近代文学館編	二玄社	1994	918.68/108:L

#### 【複製近代文学手稿100選】

明治から現代にいたる日本の近代文学を代表する作家、作品から編集委員会の協議を経て81作家、102作品の手稿を選び複製し、1巻に集大成したもの。

出典：法政大学OPAC 『複製近代文学手稿100選』 日本近代文学館編 二玄社 1994  
918.68/108:L [http://opac.lib.hosei.ac.jp/opac/opac\\_link/bibid/1100290600](http://opac.lib.hosei.ac.jp/opac/opac_link/bibid/1100290600)

## 第2回 「作家の手稿」

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">愛憐詩篇ノオト</a> (近代文芸資料複製叢書 ; 第3集 . 萩原朔太郎肉筆手稿集)	萩原朔太郎著	世界文庫	1962	[前巻] F2b/34/3a [後巻] F2b/34/3b

### 【愛憐詩篇ノオト】

萩原朔太郎が手記したこのノートは2冊から成り、2冊を合わせると、詩144篇、短歌124首となる。この中で詩人が生前に詩集、雑誌などで発表したものと、没後全集に収載されたものとを合わせて、詩69篇が既に発表されている。

発表されたものとノートとでは題名、詩語ないし詩形などの点で、何らかの変化の見られるものが殆どであって、原形と呼ぶべきものにおよんでいる。残りの詩75篇と短歌全部とが未発表の作品と見られ、この複製本によって初めて公開された。

出典：『愛憐詩篇ノオト（近代文芸資料複製叢書 ; 第3集 . 萩原朔太郎肉筆手稿集）解説』  
萩原朔太郎著 世界文庫 1962 F2b/34/3a、3b

### 萩原朔太郎 [1886-1942]

詩人。1916年室生犀星、山村暮鳥らと『感情』を創刊、一派をなす。第一詩集『月に吠える』でその地位を築く。近代人の心性を表現する口語自由詩の確立を果たす。詩論、文芸評論、古典鑑賞にも業績を残した。

出典：【萩原朔太郎】  
日本国語大辞典 JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

資料名	著者	出版者	出版年	請求記号
<a href="#">永日小品・山鳥：夏目漱石自筆原稿</a> (名著複製全集近代文学館)	夏目漱石著	日本近代文学館	1968	F2b/170/B28

### 【永日小品】

1909年1月から3月まで朝日新聞に断続連載された小品の連作集。『夢十夜』のようなものを、という朝日新聞社の要望を受け、毎日、一編ずつ書き上げられた。

用紙は漱石専用の「漱石山房」原稿用紙。保存状態が良好だったらしく、100年前の草色のインクが今も目に鮮やかである。

出典：県立神奈川近代文学館所蔵  
『夏目漱石デジタルコレクション』  
<https://www.kanabun.or.jp/souseki/>  
(2022/08/24アクセス)

### 夏目漱石 [1867-1916]

小説家・英文学者。英国留学後、教職を辞して朝日新聞の専属作家となった。自然主義に対立し、心理的手法で近代人の孤独やエゴイズムを追求、晩年は「則天去私※」の境地を求めた。日本近代文学の代表的作家。

※則天去私  
天に則り私を去るの意。夏目漱石が晩年に文学・人生の理想とした境地。自我の超克を自然の道理に従って生きること求めようとしたもの。漱石自身の造語。

出典：【夏目漱石】、【則天去私】  
デジタル大辞泉 JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

## 第2回 「作家の手稿」

データベース名	アクセス方法
<a href="#">日本近代文学館</a> <a href="#">滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集</a>	図書館HP>MyOPAC>データベース>JK-BOOKS >詳細(個別)検索>日本近代文学館>近代作家原稿集 ※自宅など学外から利用する場合はVPN接続が必要です

### データベース

「日本近代文学館 滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集」

2010年に『中央公論』の主幹であった滝田樗陰の遺族から日本近代文学館に寄贈された原稿および滝田樗陰宛書簡などのうち、原稿1万枚余りを画像データベース化したもの。67名の作家の213作品・原稿10,293枚と、初出誌『中央公論』の1915～1925年までに掲載された209作品の見開き誌面2,638カット(表紙・目次・奥付を含む)をすべてカラー画像で収録している。

出典：「日本近代文学館 滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集」 JapanKnowledge  
<https://japanknowledge.com>

データベース名	アクセス方法
<a href="#">日本近代文学館所蔵</a> <a href="#">太宰治自筆資料集</a>	図書館HP>MyOPAC>データベース>太宰治自筆資料集 ※自宅など学外から利用する場合はVPN接続が必要です

### 太宰治 [1909-1948]

小説家。左翼運動からの離脱、自殺未遂などから終生罪の意識を持つ。第二次大戦中は『走れメロス』『富嶽百景』『右大臣実朝』などを精力的に書く。戦後は傷つきやすい自我を作品化した。玉川上水で情死。

出典：【太宰治】 日本国語大辞典 JapanKnowledge <https://japanknowledge.com>

### 【電子ブックの利用方法】

- 自宅など学外のPCから電子ブックを利用するには、「VPN接続(Any Connect)」が必要です。

・インストールは[こちらから](#) ・VPNについては[よくある質問](#)

- 本の同時アクセス上限を超えた場合は、時間をおいて再度アクセスしてください。

市ヶ谷図書館キャラクター  
ぶつくま

